

Q2：クラブ活動を充実させるためのポイントについて教えてほしい。

A： クラブ活動は、異年齢の児童による自発的、自治的な活動を通して、共通の興味・関心を追求する活動である。活動に際しては、教師が作成した指導計画に基づいて児童が協力して自分たちの具体的な活動計画を立て、創意工夫をしながら自主的、実践的に取り組むことが重要となる。また、組織づくりや成果の発表を工夫することで、児童の活動意欲をより高めることができる。
以下に、クラブ活動を充実させるための具体的なポイントを示す。

1 クラブの組織づくり

児童の希望を生かして組織づくりを行うために、以下のような手順が考えられる。

1	設置クラブの希望調査 ↓	・主として4年生以上を対象に設置したいクラブの希望調査を行う。新たに設置したいクラブも希望してよいことを伝える。およその活動内容を想定して示す。
2	クラブの設置 ↓	・児童の希望を第一に、学校の職員数や施設等の環境、設置状況等を考慮し、自発的、自治的な活動の範囲で行えるクラブを設ける。 ・児童の希望だけでなく、地域や学校の特色、伝統にも配慮する。
3	所属の調整と決定 ↓	・所属したいクラブの希望調査を実施し、状況に応じて調整する。
4	人数の調整と所属の決定	・児童の希望を尊重しながら、異年齢集団による活動が効果的に行われるよう配慮する。

適正な人数を超える場合は施設・設備面で活動できなくなることを伝え、自主的に他のクラブへ変更することを促す。それでも調整できない場合は、高学年優先など、学校ごとの約束に基づいてクラブ担当者が調整する。

2 クラブ活動の計画や運営

(1) 教師が作成するクラブ活動の年間指導計画

形式的、画一的、固定的なものではなく、児童の活動として取り上げるべき具体的な内容、方法、時間、年間の活動日などについて、あらかじめ基本的な枠組みを定めておき、児童の手によって一層具体的な活動計画が立てられるような弾力性、融通性に富むものにすることが大切である。

(2) 児童が作成するクラブ活動の年間活動計画 及び 1単位時間の活動計画

活動計画を立てることで、全員が見通しをもってスムーズに活動に取り組めるようになる。児童が思いや願いを出し合って十分に話し合い、その結果が活動計画に反映されているようにする。

【年間の見通しをもつ年間活動計画の例】

(料理) クラブ活動計画			
めあて		おいしい料理を作るために、みんなで仕事を分たんし、安全に楽しく活動する。	
クラブ長 ○○○○		副クラブ長 ○○○○	
記録 ○○○○		活動場所 家庭科室	
学期	月	活動内容	準備するもの
1	4	役わり分たん(クラブ長、副クラブ長、記録)を決める 年間活動計画を立てる	筆記用具
	5	活動計画にそって活動	材料 エプロン マスク
	6	活動計画にそって活動	材料 エプロン マスク
	7	1学期のまとめと反省	

【1単位時間の流れをつかむ活動計画の例】

第12回 ソフトバレーボールクラブ 活動計画 [10月19日(○)]				
活動	試合	場所	体育館	
めあて	協力して試合を進める	担当	Cグループ	
時間	活動内容		気を付けること	
2:40	始めの言葉 出席確にん 今日の活動の確にん 今日のめあて発表		進行などの役割は、グループが輪番で行うことも考えられる。	
2:50	活動(試合)			
3:20	後かた付け ふり返り 次回の活動の確にん 先生のお話 終わりの言葉			
準備物	体着、赤白ぼし ゼッケン、ボール、ネット			活動の振り返りを行い、自分や仲間、クラブ全体の成長に気付くことができるようにする。

3 クラブを楽しむ活動

上級生が下級生を思いやり、下級生が上級生に尊敬や憧れの気持ちをもてるように支援する。例えば、発達の段階や経験の違いによる技能差が大きくなるようにルールや実施方法を工夫したり、個人的な活動になりやすいものは共同制作などを取り入れたりするように助言する。

また、活動の時間を十分に確保したり、活動記録カードの活用の仕方を工夫したりすることで、自主的、計画的な活動になるようにする。

【自主的、計画的な取組を促す活動記録カードの例】

(料 理) クラブの活動の記録		6 年 1 組 名前 ○○○○	
クラブのめあて	おいしい料理を作るため、みんなで仕事を分たんし、安全に楽しく活動する。	自分のめあて	グループの仲間と教え合い、工夫しながら料理のレパートリーを増やす。
月日	活動内容	感想	楽しく 進んで 仲良く 片付け 先生印
4/16	役員・めあて決め	クラブ長として責任をもち、自分のめあて、クラブのめあてをがんばる。	○ ◎ ○ ○ (橋)
4/23	分たん・計画	4年生の意見を聞いてあげられなかった。次は聞いてあげる。	○ ◎ △ ○ (橋)
4/30	ケーキ作り	材料をわすれて、みんなに迷わくをかけてしまった。今度はわすれない。	△ ○ △ ◎ (橋)
7/16	分たん・計画	仕事の分たんが、早くできた。	○ ○ ◎ ○ (橋)
【1学期をふり返って】 クラブ長として、話し合いを進めた。だれもけがをせず、楽しく料理ができた。		【担当の先生から】 クラブ長として、みんなをまとめ、準備・かた付けを進んで行っていました。下級生にもやさしく教えてあげていました。	
【2学期でがんばりたいこと】 自分の意見を言うだけでなく、もっと4年生の意見も聞いてあげられるようにしたい。			

4 クラブの成果の発表

クラブ活動の内容や成果を互いに見合うことは、児童の活動意欲を高めることにつながる。クラブ発表会を年間行事や年間活動計画に位置付けておき、児童が発表会に向けて計画的に準備を進めたり、運営したりできるように支援する。

また、保護者や地域の人にもクラブ発表会を公開することで、クラブ活動についての理解が深まり、協力や連携がしやすくなる。

【成果の発表の場の例】

<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ発表会での発表 (年間のまとめとして行う展示や映像、実演など) ・運動会や学芸会などの学校行事での発表 ・児童会や全校集会での発表 ・校内放送や展示による日常の発表 など 	<p>発表や参観の際には、以下のような点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような活動をしているか。 ・異学年の児童がどのように協力しているか。 ・クラブのめあてを達成するために、どのような創意工夫をしているか。
--	--

5 外部講師・ボランティアの活用

お願いする際には、「募集」「顔合わせ」「打合せ」「実際の活動」の大まかな流れを示し、年間計画や活動内容、協力してほしいことや児童の実態等についても知らせる。特に、「クラブ活動は、児童の発意・発想を大切にし、児童が話し合いによって進めていくものであり、技能の習得だけが目的ではない」ということをきちんと伝えておく。

毎回の活動後及び1年間の活動の終わりには、丁寧にお礼の気持ちを伝える。

クラブ活動は児童が楽しみにしている大好きな時間である。年間、学期ごと、月ごとに適切な授業時数を確保し、どの学年の児童も楽しめるように工夫することを通して、豊かな人間性や社会性を育てていきたい。

【参考資料】

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| ・小学校学習指導要領解説特別活動編 | H29.6 文科省 |
| ・中学校学習指導要領解説特別活動編 | H29.6 文科省 |
| ・指導資料「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)」 | H26.9 国研 |